



PRESS RELEASE (2016/1/28)

「UQ-KU 研究教育交流プロジェクト」を開始 クィーンズランド大学内活動拠点を核に、より実質的な交流へ

概要

九州大学は、豪州のクィーンズランド大学 (University of Queensland: UQ) との間で、「UQ-KU プロジェクト」を開始しました。本プロジェクトは、クィーンズランド大学と本学の間で、大学間学術交流協定を基礎としたより実質的な交流をすすめる目的で、両大学に拠点コーディネーターを置き、これまで発展させてきた主に工学分野での交流を他の分野へも拡大させていくという新たな試みです。今後、本学は、クィーンズランド大学内活動拠点を核として、両大学間のさらなる研究教育交流の推進を目指します。さらには、本交流を軸として、豪州やオセアニア地域への学術活動のさらなる展開を目指していきます。

背景

クィーンズランド大学は、豪州クィーンズランド州に位置する 1909 年に設立された州で最も歴史ある大学であり、教育・研究分野両面で高い評価を得ている大学です。

九州大学は、1993 年にクィーンズランド大学との間で学術交流協定を締結して以来、研究教育交流を進めてきました。とりわけ、工学系での交流（エネルギー材料工学の分野における共同研究、本学工学部学生のクィーンズランド大学でのサマープログラム）を中心に積極的に展開しており、両大学は長年にわたって連携関係を継続し、関係性を深めてきました。

内容

上記のような関係を基盤として、クィーンズランド大学 (University of Queensland: UQ) と九州大学 (Kyushu University: KU) は、両者の連携をより強固なものとし、また、実質的な交流活動を活性化させることを目的として、新たに「UQ-KU 研究教育交流プロジェクト」を開始することとしました。

本プロジェクトは、既に締結している大学間学術交流協定の具体化を目指すもので、両大学に活動を推進していくコーディネーターを置き、クィーンズランド大学内にプロジェクト推進の核となる活動拠点を設けて実施していきます。コーディネーターは、九州大学側は松村 晶 工学研究院教授、クィーンズランド大学側は野北 和宏 School of Mechanical and Mining Engineering 准教授（本学卒業生）が務めます。

具体的な活動内容としては、(1) 学術交流の推進（学部、大学院学生の交流、研究者交流、共同研究成果に基づく国際学会発表と共著論文の掲載等）、(2) 教育連携（両大学の教員による相互の大学における講義、教育連携プロジェクトの実施、日豪間の産学連携プロジェクトの実施等）(3) その他サポート（広報活動、本学からの派遣学生のケア等）について、既に積極的に交流活動を行っている研究分野ではさらに連携を深め、あまり交流実績のなかった研究分野においては新たな交流活動を展開していくものです。

効果

本プロジェクトの実施により、クィーンズランド大学内活動拠点を核として、既に積極的に交流活動を行っている研究分野ではさらに連携を深め、あまり交流実績のなかった研究分野においては新たな交流活動を展開していき、全体として両大学間における実質的な交流活動の増加、ひいては連携関係のさらなる強化につなげることが期待できます。また、この強力な連携関係を足がかりとして、本学の豪州やオセアニア地域への積極的な学術活動の展開も期待できます。

今後の展開

昨年 11 月に、本学の久保総長がクィーンズランド大学を訪問し、両大学の長年の連携関係を基盤として、本プロジェクトを核とした研究教育交流を推進し、さらなる連携強化を目指すことを確認しました。12 月には、本プロジェクト実施に係る契約を締結しました。今後は、コーディネーター間で密に連携しつつ、各研究分野での連携強化を促すよう働きかけ、両大学間の連携強化やそれぞれの大学

の研究教育活動の発展につなげていきます。さらには、本交流を軸として、豪州やオセアニア地域への学術活動のさらなる展開を目指していきます。

<参考1：これまでのクィーンズランド大学との主な交流実績>

- 大学間協定に基づく学生交流実績：派遣 16 名、受入 8 名 (H27.4.1 現在)。
- 平成 27 年度に、工学部が 5 週間の短期サマープログラムをクィーンズランド大学附属語学学校にて実施し、17 名が参加した。
- 工学研究院の松村晶教授がクィーンズランド大学 (豪州)、インペリアルカレッジロンドン (英国) との共同研究において、既実用化されている水素ステーションで用いられる水素貯蔵マグネシウム合金の水素放出過程を直接可視化することに世界で初めて成功した。平成 27 年 2 月 13 日 (金) に、科学誌 Nature 姉妹紙オンラインジャーナル「Scientific Reports」に掲載された。

<参考2：活動拠点の様子>



活動拠点となる UQ セントルシアキャンパス内の建物 AEB(Advanced Engineering Building)



11月の久保総長訪問時の様子 (左より、秦国際企画課長、拠点スタッフの Read 氏、野北拠点長、久保総長、渡邊副理事/国際交流推進室長、渡邊国際部長)

<参考3：活動拠点に掲示予定の看板イメージ>



【お問い合わせ】

国際交流推進室／国際部国際企画課海外事業係 津守 麻理

電話：092-802-2223

FAX：092-802-2286

Mail：intlkaigai@jimu.kyushu-u.ac.jp